

寄贈2万冊に

東日本大震災で被災した子どもに本を贈る「いっしょだよ」キャンペーン(財

団法人大阪国際児童文学館、大阪府書店商業組合、

毎日新聞社、毎日新聞東京

・大阪・西部社会事業団主

催)は今月下旬、「特別配布」として岩手、宮城、福島

の3県立図書館に計586冊の児童書を寄贈した。支援は

今後も継続していくが、キ

ャンペーンは今回発送をもってひと区切りとする。

昨年4月26日の運動開始

からこれまで、市民から集まった寄付金は延べ156

1件、総額2458万53

93円。計1万9036冊を、4都県339カ所の幼

稚園や保育園、小中学校などに発送した。



ご協力いただいた市民の皆様さま、出版社、作家の方々はじめ、関係者にお礼申し上げます。

(財)大阪国際児童文学

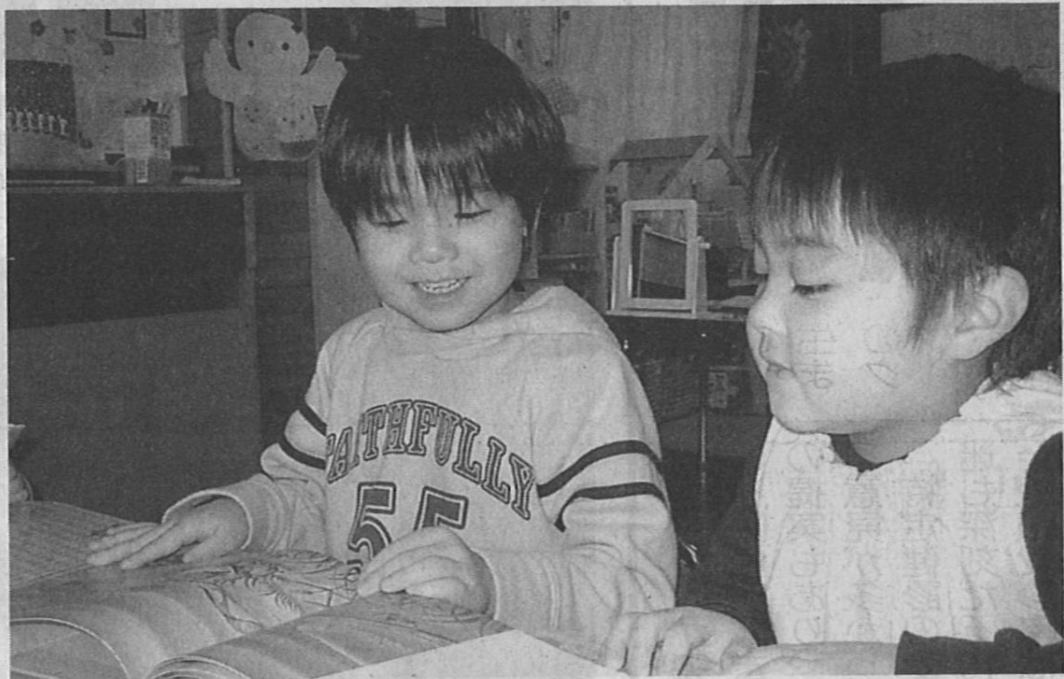
館、大阪府書店商業組合、

毎日新聞社、毎日新聞東京

・大阪・西部社会事業団



「ありがとう」続々 笑顔広がる



「いっしょだよ」キャンペーンで届いた本と一緒に読む子どもたち―福島県郡山市のスギナ保育園提供

「えほんのプレゼントありがとう」「たいせつにみます」――。キャンペーン事務局には、全国の厚意に感謝するメッセージが次々に届いている。

仙台市のひかり保育園からは「震災にも負けず元気に過ごしています」と書かれたカードが届いた。吉岡弘宗園長は「震災後、子どもたちは、音に敏感で不安そうだった。本に大喜びしました」と話している。

福島県郡山市のスギナ保育園からは、子どもたちが絵本を笑顔で広げる写真が事務局に送られた。鈴木喜美子園長は「本には子ども同士のふれ合いを育む力がある」と語る。【反橋希美】